

「わかった」「できた」を見届ける！！

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

令和3年度 大隅地区「確かな学力の定着」のための3つの柱

1 授業改善の推進

- 「大隅学力向上リーフレット」の活用
- 「グラフ作成ソフト」の活用
- 「良問（よか問等）」の活用
- 「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」のバランスを考慮した良問の活用

児童生徒の「わかった」「できた」を見届ける授業づくり

児童生徒の「わかった」「できた」を見届ける良問の活用
児童生徒の「わかった」「できた」を維持し続ける良問の活用

2 「学ぶ姿勢」の育成

- 「学ぶ姿勢（令和3年度版）」の活用

児童生徒の「学びに向かう姿勢」を見届ける！

3 学力向上に関する校内PDCAサイクルの確立

- 児童生徒の「わかった」「できた」を見届ける手立ての位置付け

児童生徒の「わかった」「できた」を定期的・計画的に見届ける！

自分自身の授業改善

学校名【 】
氏 名【 】

【自分の課題】

単元（題材）など

一単位の授業

【改善のための一事徹底】

【自己評価】

【前期】

【後期】

【前期】

【後期】

（修正は見え消しで）

（修正は見え消しで）

必要に応じて見直し

大隅終末ベーシック

一終末から授業をデザインするー

教材研究の流れ（①→②→③）

【導入】学習目標（めあて）の設定②

【キーワード】

「まとめ」と「めあて」の整合性

【展開】学習活動の設定③

【キーワード】

「考えの記述」と「学び合い」の設定

【終末】まとめの確実な板書①

【キーワード】

「思考を整理」と「確実な見届け」

大隅終末ベーシックにもとづいた一単位時間の授業づくりのポイント

1 導入の工夫

- 前時の振り返りを生かす。
- 事象提示等の工夫
- 「なぜ」「どうして」を引き出す。

2 めあての提示

- 見通し（結果、方法等）の確認

3 「学び合い」活動の設定

- 考えの記述
- 学び合い
- 活動例（三角ロジック、ペンタゴン・ロジック）

4 まとめ板書

- 自分なりのまとめ→全体のまとめ

5 振り返り

- ダイヤモンド・サイクルの活用
- 良問（よか問等）の活用

良問（よか問等）に取り組ませ、知識・技能の確実な定着や思考力・表現力等の向上を図りましょう。

どこから

「よか問」

かごしま学力向上支援WEBシステム



「演習問題一覧」など

何を

既存のものを活用

- 左の情報源から「良問」を選びます。
- 左で紹介した情報源には、今求められる「学力」を図る評価問題等が準備されています。

「良問」を選ぶ

- 児童生徒の実態に応じて「良問」を選びます。
- 最初は難しくても粘り強く取り組みます。
- 必要に応じて、ヒントを与え、取り組みます。

いつ、どのように

年間を通して

教科の年間指導計画等に「良問」をどこで取り組むかなど明記し、計画的に取り組ませます。

授業と関連付けて

授業の中で、「本時において、どの程度の定着が図られたか」を見取るための評価問題として、「よか問」等の「良問」に取り組ませます。

家庭学習で

- 宿題として取り組み、自己採点させたり、教師が解説をして修正させたりします。
- 取り組んだプリント等はファイルに綴らせ、誤答に付箋を貼らせると見直しに効果的です。

答え合わせ解説、訂正

褒めて取り組ませる

寄り添い取り組み、褒めて達成感や自己効力感を高めさせます。



消しゴムを使わず見え消しや書き加えて修正させる

模範解答を書き写すだけの修正にせず、自分の解答と模範解答を比較させ、読解力や表現力等を高めさせます。

見届け個別指導

個別の状況を確かに見届ける

学級の平均通過率の把握はもちろん、個別の状況をしっかり見取ります。どの問題を、どの程度解けたか等を見取り、記録を残します。

繰り返し取り組ませる

「できた」「わかった」という声が聞けるまで個別指導や補充指導を充実させましょう。一定期間において、再度取り組み、定着状況の変容を確認しましょう。



このリーフレットは、年度初めに大隅地区の先生方へ1枚ずつ配布しています。コピーして使って結構です。大隅教育事務所ホームページからダウンロードできます。

<http://www.pref.kagoshima.jp/aa02/kyoiku/jimusho/osumi/>

